

平成29年度第6回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー

■ 今回のテーマ 在宅医療・介護連携に市町村はどう取り組むべきか

■ 目的 在宅医療・介護連携推進事業は、地域支援事業の包括的支援事業として位置づけられ、平成30年4月にはすべての市町村において、(ア)～(ク)の事業項目を全て実施することになる。

今回、市町村が主体となって地域における様々な社会資源等を有効に活用し、課題解決に向けた取り組みを行っている実例報告を中心に紹介し、取り組むべき課題を整理・検討を行う。

なお、第6回については、市町村に対する県の支援を紹介する。

■ 対象 市町村職員等
(県庁職員等の傍聴可)

■ プログラム

【第6回 平成29年12月15日(金) 長崎縣市町村会館6階・中会議室】
長崎県共催 (長崎市栄町4-9)

①開会挨拶	13:00～13:10	【九州厚生局長】
②行政説明	13:10～13:40	【厚生労働省老健局総務課】
③実例報告	13:40～14:20	【長崎県大村市】 「医療介護連携の構築～大村市の取組～」
④実例報告	14:20～15:00	【熊本県八代市】 「在宅医療・介護連携推進における八代地域の取組について～医師会と行政との連携～」
⑤実例報告	15:10～15:50	【熊本県】 「在宅医療及び医療介護連携の推進における県の役割について～熊本県及び保健所のこれまでの取組と今後の課題～」
⑥グループ討議	16:00～16:50	
⑦連絡事項	16:50～17:00	